

第10回新しい資本主義実現会議提出メモ
新しい資本主義実行計画の実施に向けた重点事項について

東京大学 柳川範之

1. 個別政策の実施も重要であるが、全体としての総合政策パッケージが重要相互に関連性のある政策を、一気に実行していく必要がある。
2. リスキリング、成長分野に移動するための支援策の整備
それぞれの労働者にとって、どのようなリスキリングが必要なのか詳細を把握
それに基づいた、適切なリスキリング・プログラムやプログラム提供主体の整備
リスキリングをするだけの時間と余裕をそれぞれの労働者に与える
単に財政的支援をするだけでなく、これらの点を詰めて実行していく必要がある
3. 非正規労働者の待遇改善、副業の環境整備、職務給導入の推進なども合わせて行い、全体の改革を行っていくことが重要
4. スタートアップにとっては、単に創業に際して金銭的支援があるだけではなく、成長や追加投資の機会がしっかりと得られる環境整備が必要。政府がすべて整備・支援をしていくというスタンスではなく、新たなエコシステムが出来上がる環境整備を政府が支援するスタンスが重要。
5. 経営者の個人保証を不要にする等の制度の見直しは、重要なポイント。
6. 債権者の全員同意を求めず、債権者の多数決決議と裁判所の認可により私的整理ができるようにすることは、迅速な事業再生を促し、経済のダイナミズムを確保する上で重要。
7. デジタル田園都市国家構想の推進においては、各地域の Well-Being をいかに高めるかが重要な視点になってくるとともに、地域がダイレクトに海外とつながり成長につなげていく視点もポイントとなる。
8. 社会的課題を民間企業が積極的に解決するとともに、これまで官が担ってきたサービスなどを民間企業が主体的に関与していくための仕組みづくりが、今後一層重要になる。新たな法人形態の検討を早急に進めるとともに、株式会社も含めた既存の法人形態による社会課題解決の方策も積極的に検討すべき。